



# 海の未来とSDGs

# アート展

海の未来とSDGs

入場無料  
企画費のみ

## 実施報告書

2022年 **7.2(土) > 8.31(水)**  
9:00~17:00 (最終入館16:30)

〈会場〉フォッサマグナミュージアム 研修室  
〒941-0056 新潟県糸魚川市大字一ノ宮1313 TEL 025-553-1880

展示内容  
・海ごみで作ったアート作品、アート体験コーナー  
・海洋観測関連の資料(糸魚川沖の深海映像など)  
・身近な環境問題、市内の学校や団体等のSDGsに関連した取組などを紹介するパネル



糸魚川ユネスコ世界ジオパークは、持続可能な開発目標(SDGs)と関連した海洋科学の10年を支援しています。



### Featured Artist

Leeanne Splatt  
リアン スプラット



糸魚川市在住の海ごみアーティスト。ビーチクリーンイベントや地元学校の教育活動、ギャラリーやショップセンターでの企画展示を手掛ける。2019年に友人の伊藤真さんと環境保全団体「マリンフレンズプロジェクト」を立ち上げ、多言語ブックレット「Art for the Environment」を出版。市内の保育園や学校などに無料配布した。2021年には、プラスチックゴミで作ったキャラクターが登場する絵本「Robot & Boo: The Beach Cleaning Crew」を出版している。作品の一部は、Instagramアカウント「CASTAWAYCOLOR」で公開中。オーストラリア・メルボルン出身。



7.30(土)  
13:30~15:00

演題 「北極の温暖化と新潟の豪雪の意外な関係」

講師 原田 尚美さん

海洋学専攻、東京大学教授、第60次南極地域観測隊 副隊長

参加 ① 会場で参加 (定員:80人)

会場:フォッサマグナミュージアム ホール

② オンラインで参加 (YouTube)

申込 2次元コードにて (申込期限は7/25まで)



主催:糸魚川ジオパーク協議会、フォッサマグナミュージアム(糸魚川市教育委員会)  
共催:マリンフレンズプロジェクト、株式会社イールー

協力:国立研究開発法人 海洋研究開発機構、東京砂丘ビジターセンター、G-KUMO PROJECT、糸魚川市立徳部小学校  
後援:新潟県糸魚川地域振興局、一般社団法人 糸魚川市観光協会、新潟日報社、株式会社 上越タイムス社、B&G観光海洋クラブ、株式会社 船氷商店、株式会社モンベル、海と日本プロジェクト in 新潟、日本ジオパークネットワーク

問合せ先:糸魚川ジオパーク協議会事務局(糸魚川市商工観光課ジオパーク推進室内)  
〒941-8501 新潟県糸魚川市一ノ宮1-2-5 TEL 025-552-1511

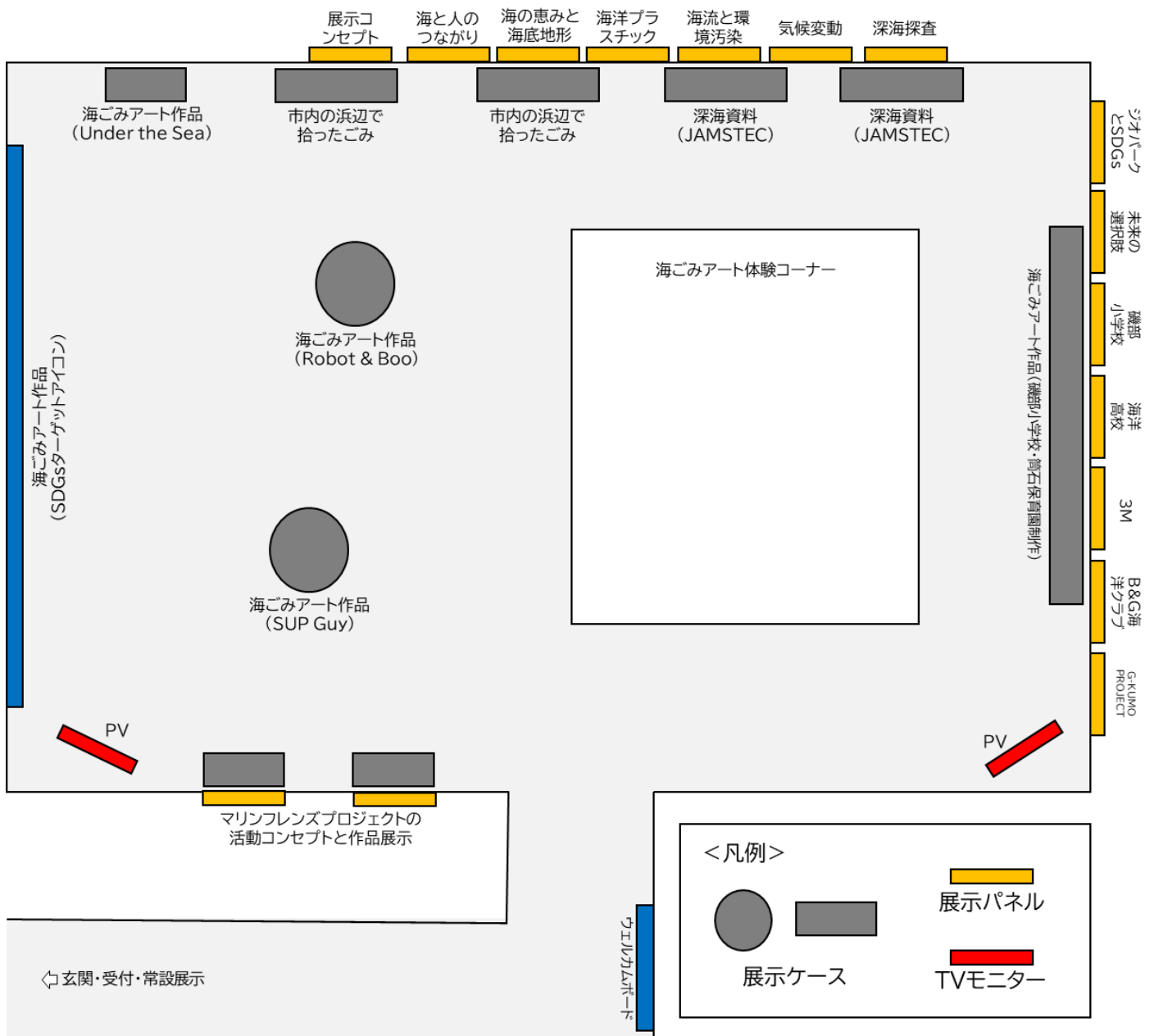


- 行事名称 海のアート展 ～海と日本PROJECT～
- 開催期間 令和4年7月2日（土）～令和4年8月31日（水）
- 開催場所 フォッサマグナミュージアム 研修室  
（新潟県糸魚川市大字一ノ宮 1313）
- 開催目的 糸魚川ユネスコ世界ジオパークの海の魅力と課題を  
広く発信し、SDGsの理念に基づいた環境保全意  
識の啓発を図るため。
- 来場者数 27,438 人
- 記念事業 オープニングセレモニー …令和4年7月2日（土）  
  
記念講演会 ……………令和4年7月30日（土）  
講師：原田 尚美さん（東京大学教授）  
演題：北極の温暖化と新潟の豪雪の意外な関係
- 主 催 糸魚川ジオパーク協議会、糸魚川市教育委員会
- 共 催 マリンフレンズプロジェクト、株式会社イールー
- 展示協力 国立研究開発法人 海洋研究開発機構、鳥取県ビジターセンター、  
G-KUMO PROJECT、糸魚川市立磯部小学校
- 後 援 新潟県糸魚川地域振興局、一般社団法人 糸魚川市観光協会、新  
潟日報社、株式会社 上越タイムス社、B & G 能生海洋クラブ、  
株式会社 能水商店、株式会社 モンベル、海と日本プロジェクト  
in 新潟、日本ジオパークネットワーク



# ■ 海のアート展 ～海と日本プロジェクト～

## <会場図>



## <プロモーションビデオ>



海のアート展 P V

<https://www.youtube.com/watch?v=WB21Nhr7xU4>



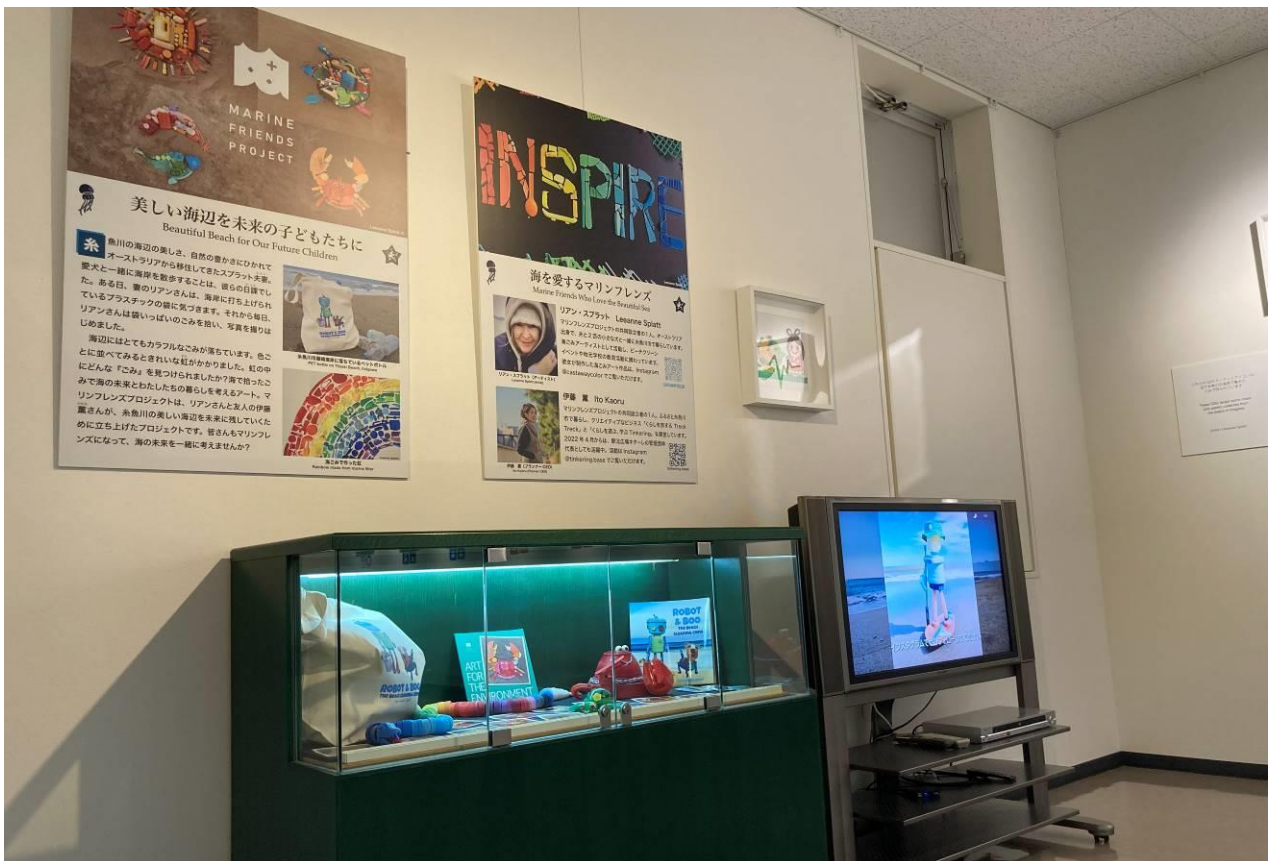
Robot & Boo

<https://www.youtube.com/watch?v=NUDkGlos5y8>

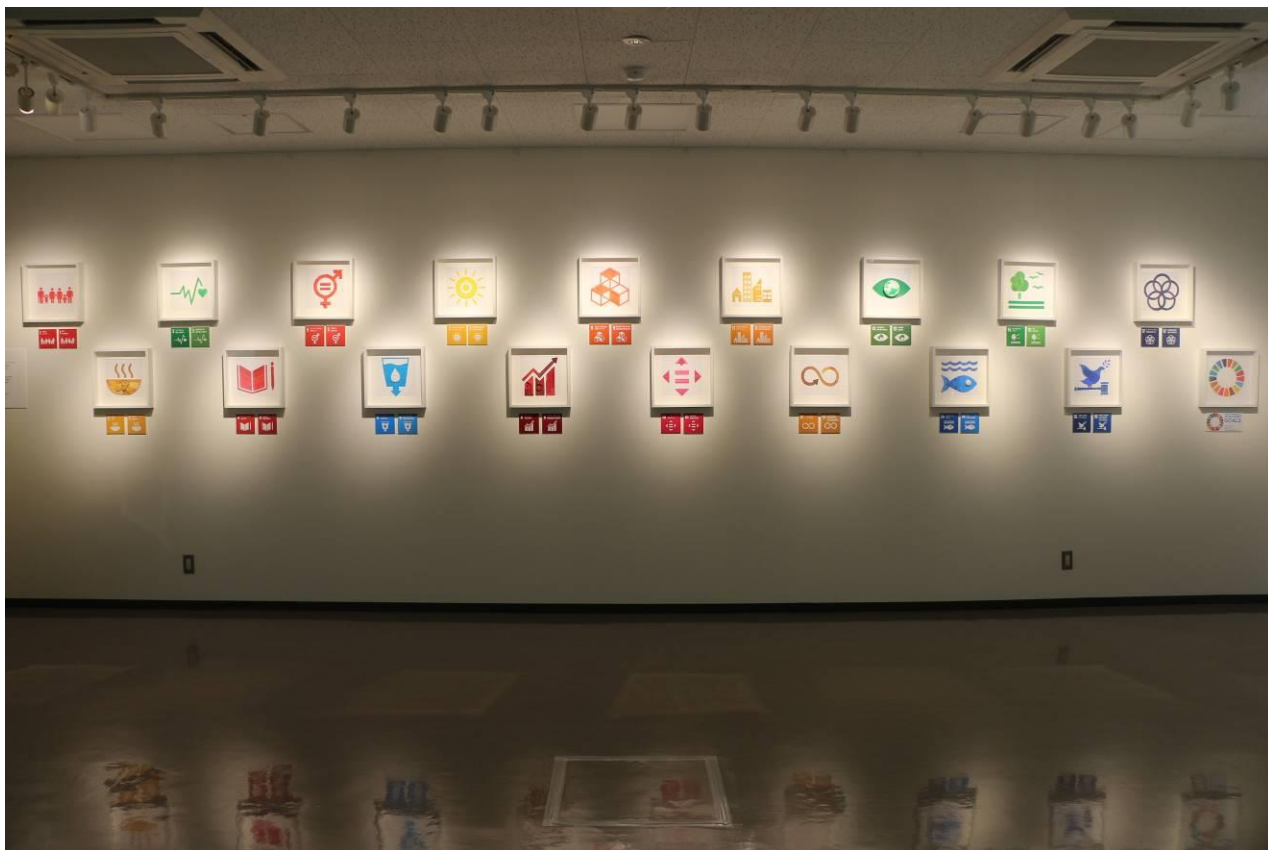
<展示物・パネル>



ウェルカムボード。背景には糸魚川市藤崎海岸の空撮写真を、立体パネルにはリアンさんの海ごみアート作品“Robot & Boo”を起用し、フォトスペースとして活用しました。



リアンさんが立ち上げた団体“マリフレンズプロジェクト”の活動コンセプトとグッズを紹介した展示。モニターでは海のアート展のPVの他、リアンさんのインタビュー映像を放映しました。



糸魚川市の浜辺で拾ったごみだけで制作した SDGs の 17 のターゲットアイコン。離れていると絵のように見えるが、近寄ると身近なごみであることに気付く仕掛けとなっており、地球規模の課題をより身近に感じてもらえるよう表現しました。



海ごみアート作品”SUP Guy”  
チラシやポスターにも使用したキャラクター。パドルグリップやリーシュコードまで再現されています。



海ごみアート作品”Robot & Boo”  
リアンさんが初めて海ごみで制作したキャラクター。絵本やトートバッグ、キーホルダーなどに採用されている人気キャラクターです。



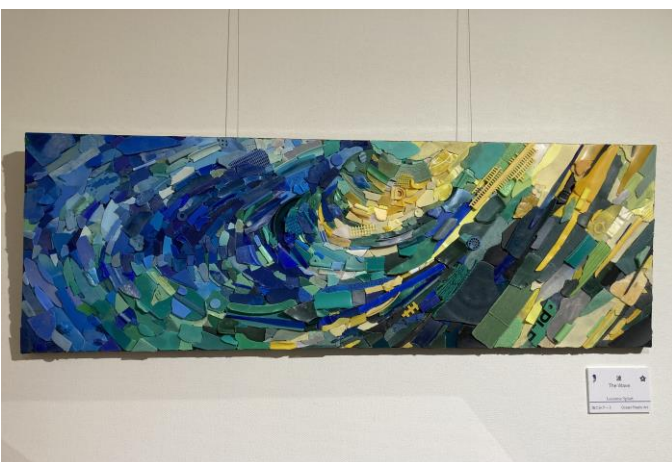
絵本”Robot & Boo”  
マリフレンズプロジェクトが制作した絵本。ごみだらけの世界で元気がなくなってしまった Boo を助けるため、主人公 Robot が愉快的仲間たちと世界をきれいにしていき、Boo を救う物語。作中に登場するカニやカメなど全てのキャラクターが海ごみで作られています。海のアート展開催中は、この絵本などのグッズをフォッサマグナミュージアムのショップで販売しました。



海ごみアート作品“Under the Sea”  
“The Wave”



海ごみアート作品“Under the Sea”  
海の豊かさをカラフルに表現した作品。  
お弁当の醤油さしや漁で使う浮き、子  
ども用のおもちゃなど身近なものが多  
用されています。



海ごみアート作品“The Wave”  
波のきらめきを躍動的に切り取った作  
品。色彩を細やかに表現しており、印象  
派の絵画を思わせます。



海の恵みと課題を説明したパネルと深海探査に関する資料展示。パネルでは、海洋プラスチックが生物に与える影響、海流により海外に流れ着くごみ、太平洋ごみベルト、気候変動と海水準変動、国連海洋科学の10年について説明。深海探査に関する資料として、水圧により潰されたバットやカップ麺容器、深海生物の標本、地球深部探査船「ちきゅう」の模型などを展示。ケースの上には、糸魚川沖の深海映像を放映した。深海に関する資料・画像・映像は、国立研究開発法人 海洋研究開発機構に提供していただきました。



SDGsに取り組む市内の学校や企業を紹介するパネルと磯部小学校・筒石保育園の子どもたちが制作した海ごみアート作品展示。





海ごみアート体験コーナー。子どもたちが自分で海ごみアートを体験できるコーナーを設置しました。糸魚川の海岸写真を床面に貼り、写真映えも意識しています。制作・撮影した作品を広くシェアしてもらうため、SNSのハッシュタグキャンペーンも展開しました。

<オープニングセレモニー>



テープカットの様子（左からリアンさん、竹田くん、米田会長、入澤くん、靄本教育長）

- 日 時 令和4年7月2日（土）9：00～10：00
- 会 場 フォッサマグナミュージアム（海のアート展会場）
- 出席者 米田 徹（糸魚川ジオパーク協議会会長／糸魚川市長）  
靄本修一（糸魚川市教育委員会 教育長）  
リアン・スプラット（展示アート制作者／マリンフレンズプロジェクト）  
竹田陸玖（磯部小学校3年生）  
入澤雄太郎（糸魚川ジオパーク子ども学芸員）
- 次 第 主催者挨拶（糸魚川ジオパーク協議会 米田会長）  
海のアート展の主旨説明（糸魚川ジオパーク協議会 小林係長）  
テープカット（上記出席者5名）  
展示紹介（リアン、磯部小学校児童、フォッサマグナミュージアム学芸員）



参加者が着用しているTシャツには、私たち1人1人の「i」を、環境問題への取組や行動「action」につなげたいという想いを込めたキャッチフレーズ「iAction」がプリントされており、海のアート展開催期間中に販売した売上の一部は、環境保全のための活動資金に活用しました。



展示紹介の様子。テープカットの後には、海のアート展メインアーティストのリアンさん、磯部小学校の児童による展示紹介を行い、作品に込めた未来へのメッセージを多くの方に届けました。

<記念講演会>



記念講演会の様子（感染症対策のため、会場とオンラインのハイブリット形式で開催）

- 日時 令和4年7月30日（土）13：30～15：00
- 形式 会場とオンラインのハイブリット開催
- 会場 フォッサマグナミュージアム ホール
- 講師 原田 尚美（海洋学者、東京大学教授、第60次南極観測隊副隊長）
- 演題 北極の温暖化と新潟の豪雪の意外な関係
- 参加者 会場：25名、オンライン：18名 /計43名



北極・南極での観測経験を生かし、研究者目線で考える国連海洋科学の10年について語っていただきました。近年問題になっている北極海の海水減少により、北海道でも鮭が獲れなくなる可能性や、シベリア高気圧が今より南下することで新潟を含む北陸地方の積雪量が増加する危険性などについて丁寧に解説していただきました。気候変動がとても身近な問題であることを実感する機会となりました。



糸魚川ジオパーク  
マスコットキャラクター  
ジオまる

本事業に協力していただいた方々に  
深くお礼申し上げます



糸魚川ジオパーク  
マスコットキャラクター  
ぬーな

制作：糸魚川ジオパーク協議会事務局（令和4年9月）